元気のヒ・ケ・ツ
足立の商人・創人

【編集・発行】
足立区産業経済部産業振興課
「元気のヒ・ケ・ツ」製作チーム
【問い合わせ先】
足立区産業経済部産業振興課
3880－5865（直通）

2018年12月発行

中郷体験農園　園主　　中田　文雄さん

中田さんは昭和19年生まれの74歳です。現在は、農業経営と並行して、平成24年に開設した中郷体験型農園の園主として利用者の指導に当たっています。半世紀以上、足立区の農地と向き合ってきた中田さんに、農業のことだけでなく、ご自身のことや趣味などをお聞きして、今も現役で活躍し続ける元気のヒケツを伺いました。

－この仕事を始められたきっかけは？－

高校を卒業して、そのまま就農しました。大学進学にも興味はあったけど、当時、うちは田んぼと畑の二毛作をしていて、常に忙しかったから難しかった。でも、通信教育で大学の勉強も始めた。夏場の一番忙しいときに出席が必要になって辞めてしまったけどね。大変だったけど、やってみてよかったと思っているよ。

就農してすぐ、20歳くらいの時に、「昔からのやり方では商売にならなくなる」と感じて、先進事例を視察して、ビニールハウスを建てたんだ。作目もコマツナをメインにして、年5～6回ハウスで周年栽培を始めた。収穫時期を少しずつずらして、ほとんど毎日500束ほど出荷するようにした。これが結構うまくいって、収入が安定するようになったな。その後も、雨が降ればJAに勉強に行った。

大手の飲食店やスーパーと契約して、出荷していた時もあったけど、あちらの都合に振り回されたりしてね。色々苦労した記憶があるよ。

－今はどんな作物を栽培していますか、－

今でもメインはコマツナだよ。最近、夏場はすごく暑いから、以前のように一年を通じてではないけど、市場に出荷している。

最近はよくJA直売所『あだち菜の郷』（足立区中央本町1-4-2）にも出荷してるかな。枝豆、里芋、ブロッコリー、サツマイモ、キャベツ、春菊、ミニ白菜とかだね。直売所は、売れ行きが目で見えるから、結構、研究している。ほかの人が出荷しているものや、地方の直売所などでの売れ筋をみることもあるよ。今年は、そこで見かけて、いいなと思って、新たにわさび菜を作ってみた。

種苗会社や農業製品の会社から送られてくるパンフレットもよく見たりしてるよ。これが結構面白いんだ。流行や新しい作物がすぐに分かるんだよ。

今年から挑戦している「わさび菜」。やわらかいフリルのような葉とピリッとした味が特徴。

「しっかり情報収集して、いいと思ったらやってみる。人との関係も一緒で、ちゃんと話してみて、信用が置けるかどうか見抜けるようになるのが大事。いい加減な人はだいたい分かるよ（笑）」
人付き合いも野菜を育てるのも同じ、と中田さん。

－足立区第一号の体験農園を開園した中田さん。開園当時はどのような感じでしたか？－

最初は、農業の先生になるのに少し戸惑ったりした。利用してくれる方はいるのかなって。
でも、行政も支援してくれたし、たくさん申し込みがあって、とてもいい関係を作ることが出来た。7年間ずっと利用してくれてる人もいるんだよ。

ハウス内の教室で農園主の話を聞いてから農園へ。作付けの時期も方法にもプロの技が。

もちろん農具も借りられます。工夫された種まき用のビンも。これで撒きすぎる心配はありません。

－お仕事以外での楽しみはありますか－

日曜大工が好きだね。布団に入ってからも、明日はどこを修理しようなんて考えると眠れなくなっちゃうんだ(笑)　実は高校は機械科だったんだよ。入学する時は、親が農業よりほかの仕事を身に着けろっていうから、継ぐつもりはなかったんだよね。溶接とか旋盤を勉強してた。それが今では、趣味につながった。台風で壊れた車庫も自分で直したよ。体験農園のトイレも自分で作ったんだよ。
温泉旅行も好きだね。家族や仲間とよく行くんだ。箱根が気に入っているね。娘の婿さんも温泉好きで、よく一緒に行くんだよ。
この間、熊本に行ったときは、馬刺しにあたっちゃって、大変だったんだけどね（笑）
お酒も好きで365日飲んでる。最近は、緑茶の焼酎割りをよく飲んでるよ。娘に粉のお茶を溶かしてもらうのが、美味しいんだ。

－体験農園でのエピソードを教えてください－

色々な人がいるから、みんな同じように教えるのはなかなか難しいね。実はベテランになるほど、失敗が増えたりするんだ。言うこと聞かないで、自己流でやったりするからね（笑）
年齢の幅も広いよ。子供連れの人もいるし、90歳のおばあちゃんもいて、毎日のように自転車できている。子供にとって畑で泥んこになって遊ぶのは、体にもいいんだよ。うちに来るようになってから、喘息が治ったなんて話を聞くと嬉しいね。
熱心な利用者が多くて、うちで何年かやって「農業を始めます」って人もいた。面白いね。
利用者同士も仲良くやっているよ。毎年、秋には収穫祭もやっているんだ。

◆中郷体験農園◆

足立区内に4つある『足立農すくーる（体験型農園）』のひとつ。園主さんに農作業を教わりながら、年間で20種類以上の野菜栽培を楽しめる！！
他では聞けないプロの技を学んでみませんか！！
こんなに立派な野菜を自分で作って収穫できます。

住　所：足立区入谷5－3

※年に1回、1月に申し込み
（31年度利用者は1月1日～1月15日の間に応募）。
詳細は、区HPもしくは、産業振興課農業振興係へ
電話：3880-5866

～編集者より～
大胆に新しいことにチャレンジしてきた中田さん。特に、50年以上農業を続けてきたベテランになっても、新品種や直売所の流行りの作物に挑戦する姿勢と熱意を見習いたいなと素直に感じました。農業でも日曜大工でも常に挑戦し続ける。それが、中田さんの元気のヒケツだと感じました。